

カンキツ属
(マンダリン類)

(Citrus L.-Group1)

MANDARINS

カンキツ属（マンダリン類）審査基準

I. 審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表1に示す種及びその交雑種の全て品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

II. 提出種苗（Material Required）

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は1年生苗木
- ii) 数量 10個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施（Conduct of Tests）

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5個体
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる2生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は2生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体5個体又は各個体から2個採取した部分10個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(f)で示した時期に行う。
 - (a) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は頂小葉）について調査する。
 - (b) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。
 - (c) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (d) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。また、果皮の油分に関する形質は、果実の収穫後3～7日の間に皮をむいて調査する。
 - (e) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
 - (f) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添え

て申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 のとき、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 果実の長さ (形質28)
- ii) 果実の直径 (形質29)
- iii) 果実の果梗部のネックの有無 (形質34)
- iv) 果皮の表面の色 (形質61)
- v) 成熟期 (形質109)
- vi) 成熟期 (ウンシュウミカン種に限る。) (形質 110)

VI. 特性表で使用する記号の説明(Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIIIに特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表 1

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus amblycarpa</i> (Hassk.) Ochse	HMA	ジェロウクリモー
<i>Citrus benikoji</i> hort. ex Tanaka	PMN	ベニコウジ
<i>Citrus chuana</i> hort. ex Tseng	PMN	ー
<i>Citrus clementina</i> hort. ex Tan.	CLE	クレメンティン
<i>Citrus crenatifolia</i> Lush.	PMN	
<i>Citrus deliciosa</i> Ten.	MMM	チチュウカイマンダリン
<i>Citrus depressa</i> Hayata	HMA	シークワシャー
<i>Citrus genshokan</i> (Hayata) hort. ex Tanaka	PMN	ゲンショウカン
<i>Citrus hainanensis</i> Tanaka	HMA	ハイナンワイルドカット
<i>Citrus haniana</i> hort. ex Tseng	PMN	ー
<i>Citrus ichangensis</i> Swing. x <i>C. reticulata</i> Blanco	HMR	イーチャンダリン
<i>Citrus ichangensis</i> Swing. x <i>C. unshiu</i> (Mak.) Marc.	HMR	イーチャンダリン
<i>Citrus inflata</i> hort. ex Tanaka	HMA	モチユ
<i>Citrus inflatorugosa</i> hort. ex Tanaka	HMA	カーフクルー
<i>Citrus junos</i> Sieb. ex Tanaka	HMR	ユズ
<i>Citrus keraji</i> hort. ex Tanaka	HMA	ケラジ
<i>Citrus leiocarpa</i> hort. ex Tanaka	HMA	コウジ
<i>Citrus lycopersicaeformis</i> (Lush.) hort. ex Tanaka	HMA	コクニー
<i>Citrus madurensis</i> Lour.	HMA	シキキツ
<i>Citrus maxima</i> (Burm.) Merr. x <i>C. ichangensis</i> Swing.	HMR	イーチャンゼロ
<i>Citrus nippokoreana</i> Tanaka	HMA	コウライタチバナ
<i>Citrus nobilis</i> Lour.	HMA	クネンボ
<i>Citrus oto</i> hort. ex Yu. Tanaka	HMA	オートー
<i>Citrus paratangerina</i> hort. ex Tanaka	PMN	ラドー
<i>Citrus platymamma</i> hort. ex Tanaka	PMN	ビンキツ
<i>Citrus pseudo-aurantium</i> hort. ex Yu. Tanaka	HMA	ヘンカミカン

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus pseudosunki</i> hort. ex Tanaka	HMA	フィリピンスンキー
<i>Citrus reshni</i> hort. ex Tanaka	HMA	クレオパトラ
<i>Citrus reticulata</i> Blanco	PMN	ポンカン
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>C. paradisi</i> Macfad	TNL	タンゼロ
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	TNR	タンゴール
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>Fortunella</i> sp.	HMR	クマンダリン
<i>Citrus sphaerocarpa</i> Hort. ex Tanaka		カボス
<i>Citrus suavissima</i> hort. ex Tanaka	PMN	オウカン
<i>Citrus succosa</i> hort. ex Tanaka	PMN	ジミカン
<i>Citrus sudachi</i> Hort. ex Shirai	HMR	スダチ
<i>Citrus suhuiensis</i> hort. ex Tanaka	PMN	シカイカン
<i>Citrus sunki</i> (Hayata) hort. ex Tanaka	HMA	サンキツ
<i>Citrus tangerina</i> hort. ex Tanaka	PMN	ダンシー (オオベニミカン)
<i>Citrus tardiferax</i> hort. ex Tanaka	PMN	マンキツ
<i>Citrus tardiva</i> hort. ex Shirai	HMA	ギリミカン
<i>Citrus tarogayo</i> hort. ex Yu. Tanaka	HMA	タロガヨ
<i>Citrus temple</i> hort. ex Y. Tan. x <i>C. paradisi</i> Macfad	HMA	(テンプル×グレープフルーツ)
<i>Citrus temple</i> hort. ex Yu. Tanaka	TNR	テンプル
<i>Citrus tumida</i> hort. ex Tanaka	HMA	フクレミカン
<i>Citrus unshiu</i> Marcow.	SAT	ウンシュウミカン
<i>Citrus yatsushiro</i> hort. ex Tanaka	HMA	ヤツシロ
<i>Citrus yuko</i> hort. ex Tanaka	HMA	ユコウ
Tangelo x <i>C. paradisi</i> Macfad	HMA	タンゼロロ
Tangor x <i>C. temple</i> hort. ex Y. Tan.	HMA	(タンゴール×テンプル)

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid		
2	2	PQ (* (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年以上の 樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	ユズ、不知火 興津早生、せとか、は るみ 清見	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	興津早生、はるみ 清見、不知火 せとか、ユズ	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ (とげのある品種 に限る。)	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、不知火 せとか ユズ	
5	5	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ユズ、ポンカン 清見、せとか、不知火、 はるみ、興津早生 カラ	
6	6	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 5)	成葉の葉身の最大 幅	測定 cm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	不知火、ポンカン せとか、はるみ、ユズ、 興津早生 カラ	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 5)	成葉の葉身の長さ と幅の比	測定 比 (a) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	はるみ、せとか、興津早生 清見、不知火	
8	8	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 5)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (a) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
9	9	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
10	10	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
11	11	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (a) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
12	12	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	せとか ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、シキキツ	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (a) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	ユズ 清見、不知火、はるみ、せとか、興津早生	
14	14	PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (a) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ユズ、清見 はるみ、せとか、不知火、興津早生	
15	15	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present		
16	16	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	キョウミカン、ポンカン 清見、せとか、はるみ、不知火、興津早生 ユズ	
17	17	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	シキキツ、タチバナ ユズ、清見、はるみ、せとか、不知火、興津早生	
18	18	QN	葉柄の翼葉の幅	<u>Varieties with petiole wings present only</u> : Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	清見、はるみ、せとか、不知火、興津早生 スダチ、カボス ユズ	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (b) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
20	20	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、はるみ、せとか 不知火 ユズ、興津早生	
21	21	QN	花弁の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	キョウミン 清見、はるみ、せとか、 不知火 ユズ、興津早生	
22	22	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/ width of petal	満開時の頂花の花弁の長さ と幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	清見、はるみ せとか、不知火、ユズ 興津早生	
23	23	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、せとか はるみ、不知火、興津早生 ユズ	
24	24	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (b) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	清見 せとか、不知火、興津早生 はるみ、ユズ	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	QN (+)	花粉の稔性	Anther: viable pollen	稔性花粉の割合の 高低	測定 (b) MS	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	absent or very low low medium high very high		
26	26	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の 長さ	観察 (b) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、はるみ、ユズ せとか、不知火 興津早生	
27	27	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果序） の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
28	28	QN (* G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	キョウカン ユズ、はるみ、せとか、 興津早生 清見、不知火	
29	29	QN (* G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	キョウカン せとか、はるみ、興津早 生 清見、不知火、ユズ	
30	30	QN (*	果実の長さ／直 径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径 の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	青島温州 ユズ、はるみ、せとか、 興津早生 不知火	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (c) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	ユズ、清見、せとか、不知火、興津早生 はるみ	
32	32	PQ (+)	果実の横断面の形	Fruit: shape in transverse section	果実の横断面の形	観察 (c) VG	1 2 3	円 やや角張る 波状	circular somewhat angular scalloped	せとか ユズ、清見、はるみ、不知火、興津早生 キウミカン	
33	33	PQ (*) (+)	果実の果梗部の形 (ネック、カラー及び梗あは含まない。)	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (c) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	ユズ、せとか、興津早生 清見、はるみ、不知火	
34	34	QL (*) (+) G	果実の果梗部のネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネックの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、はるみ、せとか、興津早生、清見、不知火 カラ、ビンキツ	
35	35	QN	果実の果梗部のネックの長さ	<u>Necked varieties</u> <u>only</u> : Fruit: length of neck	果実の果梗部のネックの直径	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラ、クレメンティン ビンキツ	
36	36	QN	果実の果梗部のネックの厚さ	<u>Necked varieties</u> <u>only</u> : Fruit: thickness of neck	果実の果梗部のネックの厚さ	観察 (c) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	QL (* (+)	果実の果梗部のへこみの有無 (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties</u> <u>without fruit neck:</u> Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	せとか ユズ、清見、はるみ、不知火、興津早生	
38	38	QN	果実の果梗部のへこみの深さ (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties</u> <u>without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ユズ、清見 はるみ、不知火、興津早生	
39	39	QL (+)	果実の果梗部のくびれの有無	Fruit: presence of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	クレメンティン	
40	40	QN	果実の果梗部のくびれの強弱	Fruit: expression of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの強弱	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
41	41	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少	観察 (c) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	せとか、興津早生 清見、はるみ、不知火 ユズ	
42	42	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の長さ(放射状溝のない品種を除く。)	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	QN	果実の果梗部のへこみ（ネックが有の品種に限る。）	<u>Necked varieties</u> only: Fruit: depression at stalk attachment	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は浅 中 深	absent or shallow intermediate deep		
44	44	QL (+)	果実の果梗部のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実の果梗部のカラーの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、清見、はるみ、せとか、興津早生 不知火	
45	45	QN	果実の果梗部のカラーの高さ	Fruit: height of collar	果実の果梗部のカラーの高さ	観察 (c) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
46	46	QN	果実の果梗部のカラーの直径	Fruit: diameter of collar	果実の果梗部のカラーの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
47	47	QN	花盤と果実の間の離層	Fruit: abscission layer between floral disc and fruit	花盤と果実の間の離層の発達の強弱	観察 (c) VG	1 2 3	無又は弱く発達 中間 強く発達	absent or weakly developed intermediate strongly developed		
48	48	QN (* (+)	果実の果頂部の形(乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。)	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (c) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ユズ、はるみ、せとか、興津早生 清見、不知火	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	QL (* (+)	果実の果頂部のへこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	せとか ユズ、清見、はるみ、興津早生	
50	50	QN	果実の果頂部のへこみの深さ	Fruit: depth of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
51	51	QN	果実の果頂部のへこみの直径	Fruit: diameter of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
52	52	QL (*	果実の果頂部の凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状模様の明瞭さ	観察 (c) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか、ユズ、姪バナ オータニック	
53	53	QL (+)	果実の果頂部の凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環の状態（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	観察 (c) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	清見、せとか 姪バナ ユズ、オータニック	
54	54	QN	果実の果頂部の凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環の直径（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	測定 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	姪バナ ユズ、清見、せとか オータニック	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	QN	果実の花柱痕の 大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花 柱痕の直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ユズ、 清見、はるみ、せとか、 興津早生 不知火	
56	56	PQ	花柱の果実への 残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残 存の程度	観察 (c) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
57	57	PQ	果実の果頂部の へその開きの有 無	Fruit: presence of navel opening	果実の果頂部のへ その開きの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無 たまに有 常に有	absent occasionally present always present	ユズ、清見、はるみ、興 津早生 不知火、せとか サンキツ	
58	58	QN	果実の果頂部の へその開きの大 きさ	Fruit: diameter of navel opening	果実の果頂部のへ その開きの直径 (開きが無の品種 を除く。)	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
59	59	QL	果実の果頂部の 放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放 射状溝の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、清見、せとか、興 津早生 はるみ、不知火、ポンカン	
60	60	QN	果実の果頂部の 放射状溝の明瞭 さ	Fruit: expression of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放 射状溝の明瞭さ (放射状溝が有の 品種に限る。)	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
61	61	PQ (* G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部 の主な色	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 濃橙 橙赤 赤	green yellow green light yellow medium yellow yellow orange medium orange dark orange orange red red	ユズ 不知火 清見、はるみ、せとか、 興津早生 オータニック、マコット 小原紅早生	
62	62	QN (*	果実の表面の光 沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部 の光沢の程度	観察 (c) (d) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ユズ はるみ、興津早生 マコット シキツ	
63	63	QN	果実の表面の粗 滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部 の粗滑の程度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	はるみ、興津早生 清見 ユズ、不知火	
64	64	PQ	果実の表面の油 胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部 の油胞の大きさ	観察 (c) (d) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に 大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	ユズ、はるみ、せとか、 不知火、興津早生 清見	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	QN	果実の表面の大 油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部 の大油胞の大きさ (油胞の大きさが ほぼ斉一の場合を 含む。)	観察 (c) (d) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
66	66	QN	果実の表面の大 油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部 の大油胞の目立つ 程度 (大きさがほ ぼ斉一の場合を含 む。)	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	クレメンティン	
67	67	PQ	果実の表面の油 胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部 の油胞の凹凸の有 無	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	清見、せとか ユズ はるみ、不知火、興津早 生	
68	68	QN	果実の表面の凹 型油胞の密度 (凹型油胞のあ る品種に限 る。)	<u>Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only:</u> Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部 の凹型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
69	69	QN	果実の表面の凸型油胞の密度 (凸型油胞のある品種に限る。)	<u>Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present</u> <u>only: Fruit surface: density of pebbling</u>	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
70	70	QN	果実の表面の凸型油胞の突出の強弱 (凸型油胞のある品種に限る。)	<u>Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present</u> <u>only: Fruit surface: degree of pebbling</u>	果実の表面赤道部の凸型油胞の突出の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
71	71	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (c) (d) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	せとか、興津早生 はるみ ユズ、清見、不知火	
72	72	QN (*)	果皮と果肉の密着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果肉の分離の難易	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、はるみ、興津早生 清見、不知火、せとか カボス、オターク	
73	73	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さ (硬さ、ちぎれにくさ)	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	はるみ、興津早生 清見、せとか、不知火 オターク	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
74	74	QN	果皮の油の多少	Fruit rind: oiliness	剥皮時の油胞から出る油の多少	観察 (c) (d) VG	3 5 7	少 中 多	dry medium oily	興津早生、スダチ 清見、せとか、はるみ ユズ	
75	75	QN	果皮の裏面の油胞の明瞭さ	Fruit rind: conspicuousness of oil glands on inner surface	果皮の裏側から見た油胞の明瞭度	観察 (c) (d) VG	1 2 3	無又はわずかに明瞭 中 明瞭	absent or weakly conspicuous intermediate strongly conspicuous		
76	76	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (c) VG	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 桃 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish	ユズ 清見、はるみ、不知火、興津早生 せとか	
77	77	QN	アルベドの粗密	Fruit: density of albedo	アルベドの粗密の程度	観察 (c) VG	3 5 7	粗 中 密	loose medium dense	はるみ、不知火、興津早生 ユズ、清見、せとか カボス、オクニーク	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
78	78	QN (*)	果実の果肉と密着するアルベドの量（維管束は除く。）	Fruit: amount of albedo adhering to flesh (strands excluded)	剥皮時に果肉に残るアルベドの量	観察 (c) VG	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large	姪バナ はるみ、不知火、せとか、興津早生 清見、ジキツ カボス	
79	79	QL	アルベドの維管束の有無	Fruit: presence of albedo strands	アルベドの維管束の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
80	80	QN	アルベドの維管束の量	Fruit: amount of albedo strands	アルベドの維管束の多少	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	small medium large		
81	81	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (c) (e) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 淡緑 淡黄 黄 淡橙 橙 濃橙 赤 紫	whitish light green light yellow medium yellow light orange medium orange dark orange red purple	ユズ 姪バナ 清見、不知火、はるみ せとか、興津早生、マコト	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
82	82	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (c) (e) VG	1 3 5 7 9	無又は粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	はるみ、不知火、興津早生 ユズ、清見、せとか マコト オタニク	
83	83	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (c) (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	マコト、シキツ、タバナ ユズ、清見、せとか、興津早生 はるみ、不知火	
84	84	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	測定 (c) (e) MS	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか、興津早生	
85	85	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (c) (e) VG	3 5 7	少 中 多	few medium many	シキツ、タバナ ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか	
86	86	QN	じょうのう膜の密着性	Fruit: coherence of adjacent segment walls	隣接したじょうのう膜どうしの密着の強弱	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、はるみ、不知火、興津早生 せとか 清見	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
87	87	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment wall	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	はるみ、せとか、興津早生 ユズ、清見、不知火、青島温州 オーターク	
88	88	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	シキツ、矧バナ ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか	
89	89	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	シキツ、矧バナ ユズ、清見、せとか、興津早生 はるみ、不知火	
90	90	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
91	91	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
92	92	PQ (*)	果実内部の二次果の有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実内部の二次果(ネーブル)の有無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は極希 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	ユズ、清見、はるみ、せとか、興津早生 不知火、ノバ	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
93	93	QN	果実内部の二次果の大きさ	Fruit: size of navel (viewed internally)	果実内部の二次果(ネーブル)の大きさ(二次果がない品種を除く。)	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
94	94	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	ポンカン ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか、興津早生	
95	95	QN (*)	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量(Brix)	測定 % (c) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	興津早生 清見 せとか、はるみ、不知火	
96	96	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度(クエン酸)	測定 % (c) MS	3 4 5 7 9	低 やや低 中 高 極高	low low to medium medium high very high	興津早生、クマンティン せとか 清見、はるみ、不知火 カラ スダチ、ユズ、カボス	
97		QN	果汁の酸度(ウンシュウミカン種に限る。)	<u>Only Subgroup</u> SAT: Fruit juice: acidity	果汁の酸度(クエン酸)	測定 % (c) MS	3 4 5 7 9	低 やや低 中 高 極高	low low to medium medium high very high	ゆら早生 興津早生、宮川早生 南柑20号、させぼ温州、青島温州	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
98	97	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、清見、不知火、せとか、興津早生 はるみ、ポンカン	
99	98	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	クレメンティン	
100	99	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7	無又は極少 小 中 多	absent or very few few medium many	興津早生 清見、はるみ、せとか、不知火 ポンカン ユズ、カラ、マーコット	
101	100	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (f) VG	1 9	無 有	absent present	清見 ユズ、はるみ、不知火、せとか	
102	101	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (f) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	シキツ 清見、はるみ、せとか、不知火 ユズ	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
103	102	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (f) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	キシュミカン、クレンジン 清見、はるみ、せとか ユズ、不知火	
104	103	QL	種子の表面の状態	Seed: surface	成熟種子の表面の状態	観察 (f) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
105	104	QN	種子の表面のしわの強弱	<u>Varieties with seed: surface wrinkled</u> <u>only</u> : Seed: prominence of wrinkles	種子の表面のしわの強弱	観察 (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
106	105	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (f) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	タチバナ ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか	
107	106	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮の色	観察 (f) VG	1 2 3 4	白 淡黄 淡褐 褐	white light yellow light brown medium brown	ユズ、清見、不知火、せとか はるみ、シキキツ、タチバナ	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							5 6 7	濃褐 赤 紫	dark brown red purple		
108	107	PQ	子葉の色（種子の多胚性が有の品種に限る。）	Only varieties with <u>seed: polyembryony</u> present: Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察 (f) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	ユズ はるみ、不知火、クレメンティン、せとか 夕バナ	
109	108	QN (* G (+)	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MS	1 2 3 4 5 6 7	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late	興津早生 ユズ ポンカン はるみ、せとか 清見、不知火	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							8 9	かなり晩 極晩	late to very late very late	カラ	
110		QN (* G	成熟期（ウンシ ュウミカン種に 限る。）	<u>Only Subgroup</u> <u>SAT</u> : Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色し て食味が最も良く なったと考えられ る時期	測定 月日 MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late	日南1号 ゆら早生 興津早生、宮川早生 南柑20号、させぼ温州 青島温州	
111	109	QL (*	単為結果性の有 無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	クレメンティン	
112	110	QL (+)	自家不和合性の 有無	Plant: self- incompatibility	自家不和合性の 有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	クレメンティン	

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 樹姿 Char. 2 Tree: Growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 14 葉身の先端部の形 Char.14 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形
obtuse



4
円形
rounded

形質 15 葉身の先端の切れ込みの有無 Char.15 Leaf blade: emargination at tip



1
無
absent



9
有
present

形質 25 花粉の稔性 Char.25 Anther: viable pollen

稔性花粉の割合を決定する方法

Method to determine the percentage of viable pollen:

花粉は、花卉が開き始めた時点でまだ閉じた状態のやくを採取し、これをペトリ皿に入れて、室温、暗条件の下でシリカゲル乾燥器内に 20~48 時間置く。やくが開いたらこれを 8℃ のチャンバーに移し、相対湿度 70~80% で 1 時間保存する。その後花粉を 2 ml の Brewbacker 培地 (Brewbaker and Kwock, 1963) を用いて顕微鏡スライドにすり付け、24℃ のチャンバーに入れ、相対湿度 75% で 20 時間保存する。

花粉の生育率は、2 枚の異なる顕微鏡スライドから 15 の視野で観察された発芽した花粉粒の平均を計算して求める。

The pollen should be collected when the petals begin to open (but with the anthers closed). The anthers should be introduced into a Petri dish and placed inside a silica gel dryer at room temperature, for 20-48 hours of darkness. When the anthers are open they should be moved to an 8 °C chamber with a 70-80 % Relative Humidity for one hour. Afterwards, the pollen should be brushed onto a microscope slide with 2 ml of Brewbacker medium (Brewbaker and Kwack. 1963). Finally, the microscope slide should be placed in a 24 °C chamber with a 75 % RH for 20 hours.

The percentage of pollen fertility is calculated as the average of germinated pollen grains observed with a binocular in 15 visual fields from 2 different microscope slides.

(Brewbaker, J.L. and Kwack, B.H. 1963. The essential role of calcium ion in pollen germination and pollen tube growth. Amer. Jour. Botany. 50: 859-865.)

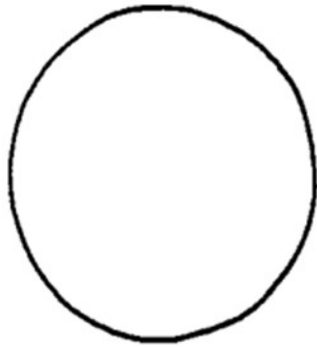
各階級の範囲

Percentage range indication for the states of expression:

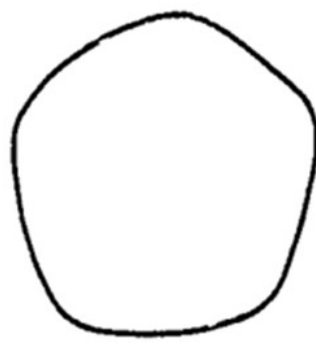
標準品種	階級	範囲
Owari (SAT)	1	$1 \leq 7\%$
	2	$> 7 \leq 14\%$
	3	$> 14 \leq 21\%$
	4	$> 21 \leq 28\%$
Marisol (CLE)	5	$> 28 \leq 35\%$
	6	$> 35 \leq 45\%$
Murcott (HMA)	7	$> 45 < 55\%$
	8	$> 55 < 65\%$
Fortune (HMA)	9	$\geq 65\%$

形質 32 果実の横断面の形

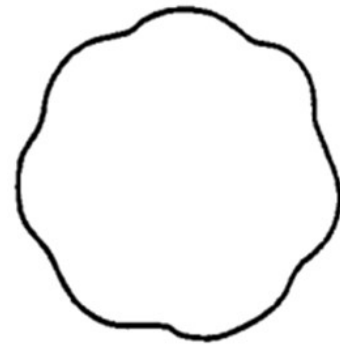
Char.32 Fruit: shape in transverse section



1
円
circular



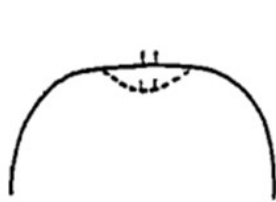
2
やや角張る
somewhat angular



3
波状
scalloped

形質 33 果実の果梗部の形 (ネック、カラー及び梗あは含まない。)

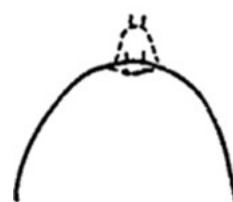
Char.33 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1
平
flattened



2
やや円
slightly rounded



3
円
strongly rounded



4
先細
tapered

形質 34 果実の果梗部のネックの有無

Char. 34 Fruit: presence of neck



1
無
absent



9
有
present

形質 37 果実の果梗部のへこみの有無 (ネックが無の品種に限る。)

Char.37 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



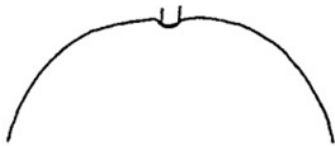
1
無
absent



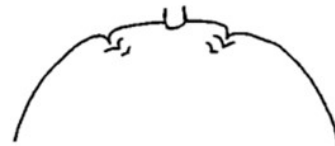
9
有
present

形質 39 果実の果梗部のくびれの有無

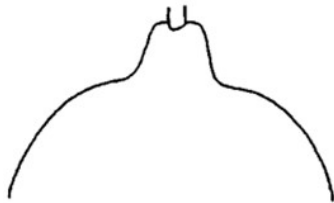
Char.39 Fruit: presence of constriction at stalk end



1
無
absent



9
有
present



形質 44 果実の果梗部のカラーの有無

Char.44 Fruit: presence of collar



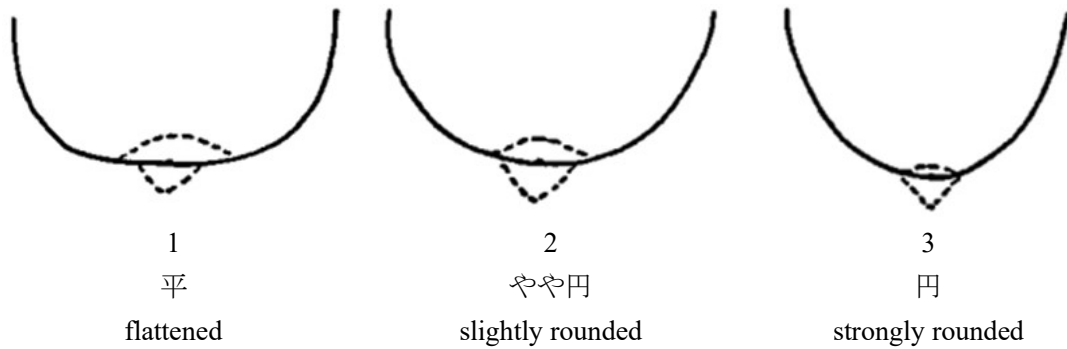
1
無
absent



9
有
present

形質 48 果実の果頂部の形(乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。)

Char.48 Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



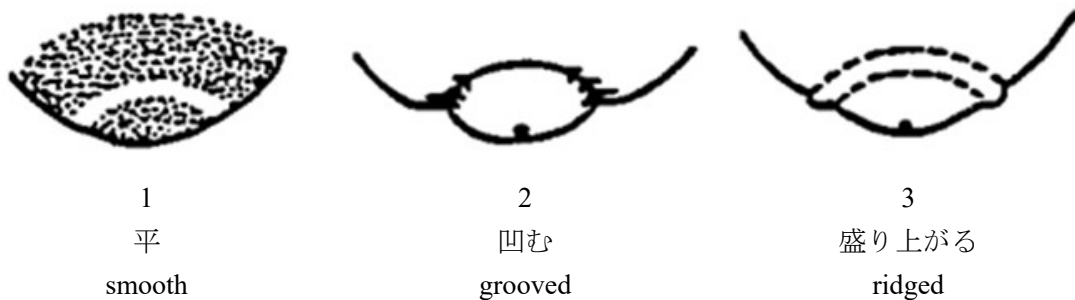
形質 49 果実の果頂部のへこみの有無

Char.49 Fruit: presence of depression at distal end



形質 53 果実の果頂部の凹環のタイプ

Char.53 Fruit: type of areola



形質 99 自家受粉の場合の種子数

Char.99 Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 100 自然受粉の場合の種子数 Char.100 Fruit: number of seeds (open pollination)

‘Open pollination’は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 112 自家不和合性の有無 Char.112 Plant: self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

i